



【展覧会名】 能登島ガラスコレクション展 ガラスの不思議な世界

【会 期】 平成 29 年 2 月 4 日(土)～4 月 9 日(日) *休館日 2 月 21 日(火)、3 月 21 日(火)

開館時間/午前 9 時～午後 4 時 30 分(4 月は午後 5 時まで、入館は閉館時間の 30 分前まで)

【会 場】 石川県能登島ガラス美術館 展示室A・B・C・D

【作品点数】 約 90 点

【入 館 料】 高校生以上/個人 800 円(20 名以上の団体 700 円)、中学生以下 無料

【主 催】 公益財団法人七尾美術財団、七尾市

【お問合せ】 石川県能登島ガラス美術館

本展担当学芸員: 米田晴子

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町 125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: yoneda@nanao-af.jp(米田)

■ 展覧会について

透明性と可塑性、儚さと強靭さをあわせ持ち、さまざまな表情を見せるガラスは、古代より人間の憧れを表現してきました。今年度の「能登島ガラスコレクション展」ではガラスの最大の特性である「透明性」とガラス独特の「色」、多種多様な形や装飾を可能にする「技法」、ガラスの輝きを引き出す「光」おn関係性に着目してガラス素材の性質とその魅力を紹介し、当館コレクションを展覧します。

■ 展覧会の特徴

ガラスの色～透明ガラスと色ガラス

ガラスと言えば、まず思い浮かぶのが無色透明のガラスではないでしょうか。可視光線のほぼ全てを透過するガラスは、私たちの目には「無色透明」に見えます。

造形と装飾～多様な表現を可能にする技法の数々

加熱によるガラスの溶解や溶着、ガラス表面への彫刻、着色など、巧みな加工技術や多様化する技法によって、“これもガラスなの！？”と思わせるガラス作品を紹介し、作家たちが挑むガラスの表現、造形の可能性を探ります。

光とガラス～

- | | | |
|---|---|-------------------------------------|
| 5. ポリープ／行武治美／1998年／
石川県能登島ガラス美術館蔵 | 6. 返信 #7／神代良明／2004年／
富山市ガラス美術館蔵／撮影：齋城卓 | 7. 流動／野田由美子／2000年／
石川県能登島ガラス美術館蔵 |
| 8. レース文様花入／安田泰三／2006年／
富山市ガラス美術館蔵／撮影：岡村喜知郎 | 9. Imperfect for You／キャロル・ミルネ／2010年／
石川県能登島ガラス美術館蔵 | |

■ 展覧会期間中のプログラム

スペシャルワークショップ「ガラス×イロんな素材で作ろう！夏のフォトフレーム」

ガラス・金属・石・布などを使ってフォトフレームを作ります。

[日時] 2016年7月17日(日)、7月18日(月・祝) ①10:00～11:30 ② 13:30～15:30

[会場] 石川県能登島ガラス美術館 会議室(予定)

[対象] どなたでもご参加いただけます。

[参加費] 500円(別途入館料が必要です)

[定員] 各日50人

[所要時間] 45分程度

[申込] 先着順、直接会場へお越しください

■ 広報用画像

画像 1～9 を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、美術館担当者までお申し込みください。

広報担当：米田 (Email: yoneda@nanao-af.jp)

< 使用条件 >

- ・ 広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・ トリミングをご遠慮ください。作品が切れたり、画像に文字がかぶることがないようにレイアウトしてください。
- ・ 情報確認のため、お手数ですが校正紙を当館までお送りください。
- ・ アーカイブのため、掲載誌(紙)、URL、番組収録の DVD、CD 等をお送りください。

以上、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。